

## 日韓国際シンポジウム・共同研究の募集

日本マス・コミュニケーション学会と韓国言論学会とは 1991 年以来日韓国際シンポジウムを共催してきました。<http://pweb.cc.sophia.ac.jp/s-yuga/JKsympo/>

第 20 回を迎えた 2014 年「日韓共同研究の可能性を探る～グローバル時代におけるメディア研究」を機に、両学会会員が共通したテーマで研究を進め、複数年でその成果をシンポジウムで発表報告していただくセッションを設けております。

現在までに以下の 2 件が行われております。

- (1) ドラマ・マンガにおける「食」表象に見る日韓社会  
山中千恵(京都産業大学)、 金秀貞(忠南大学)
- (2) 北朝鮮はどのように“公共の敵”となったか？  
森類臣 (大谷大学)、竹川俊一 (立命館アジア太平洋大学)、鄭寿泳 (成均館大学)

2017 年度から新たに会員からの共同研究者を日本側会員から公募することになりました。韓国言論学会と協議した結果、応募の要項は以下のとおりです。

- (1) (テーマ案) 地域メディア(新聞、放送など)をどう活性化するかについて、両国の現状と問題点を整理し、新たなメディアの在り方などの提言をする。
- (2) 両国会員 1～3 名程度 相手国側の共同研究者については、原則応募者が協力を求めることとなりますが、それが難しい場合、国際委員会にて韓国側と協議します。
- (3) 期間は 2 か年または 3 か年。研究奨励金として 1 件あたり 30 万円を助成します。
- (4) 応募を希望する会員は、企画書(書式自由、A4 判 2 枚程度)を国際担当理事・黄盛彬まで電子メールでお送りください。

Email: [Seongbin@rikkyo.ac.jp](mailto:Seongbin@rikkyo.ac.jp) **締切日 5 月 27 日 (土)**

採否については 6 月中旬までにご連絡します。

- (5) 採択された場合、日韓国際シンポジウムで毎回報告していただくとともに(本年は 8 月 26 日(土)ソウルにて開催)、研究完了時には本学会の英文ジャーナル誌に研究成果の論文を寄稿していただきます。

(第 35 期国際委員会)